

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価（外部評価）でいただいた意見等
本校での目標（重点は○数字）・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況		○「やさしく、かしこく、たくましく」の合言葉で分かりやすく伝えられているため銘々に周知されている。		○校長のアイディアでなされている「詩の暗唱」は学習効果が高いと思った。
1 自ら学びたくましく生きる心豊かな子どもを育成する。 ・教育目標の児童への周知 ・詩の暗唱の奨励	A	○行事や活動のめあてと教育目標との関連を明確にすることにより、教育目標を意識した展開ができた。	○昨年と変わった行事もあるので、更に保護者や地域の声を聞き工夫したい。	○学校と保護者の交流をもっともてる機会が増えるとよい。
② 東部3地区児童の円滑な適応に努める。 ・保護者や地域の要望の汲み上げと迅速な対応 ・学校行事や学年行事、学級経営の工夫と充実	B	○朝の会で学年目標について唱えさせ、機会があれば目標に照らして反省させたり賞賛したりしたので児童の意識は高い。 ○各学年で工夫して児童に指導することにより、意欲的に詩の暗唱ができた。 ○各学年ごとの親子活動で交流が図られた。 ○統合によって人間関係も広がり、子どももよく適応していたと思う。 ○児童は適応できているが、保護者との関係づくりを更に深めていくとよい。	○保護者と先生が交流を深められるような機会をもてるとよい。 ○役員や一部の人だけでなく、より多くの保護者が交流を深められるようなPTA活動を工夫する。	○のびのびとした校風もよいが、「自ら学ぶ」「たくましく生きる」という理念に追いつけてないと感じる。他町の児童は自分の将来や進学のことなどをしっかりと考えている。この辺の若者の優良就職先は役場や消防署だが、世の中には多くの職業があり、子どもたちにもっと多くの夢が持てるということを知らせてほしい。「勉強なんか意味がない」と諦めてしまう児童を作らないためにも、子どもが夢を持てるようにしてほしい。
II 保護者や地域との連携		○HPやたよりを定期的に発行・更新している。日頃の様子などを細かく伝えられるようになると更によい。	○HPは行事や活動の内容を伝えることが中心だったので、情報をきめ細かく伝えるような紙面の開発が必要。	○たよりの新刊としてよく情報提供されていると思う。
1 HPや学校だより等をとおして、保護者や地域に向けきめ細かに情報提供し、開かれた学校づくりに努める。（那珂川町全体の重点目標：全校共通） ・積極的な情報発信の工夫 ・各種便りによる情報提供	B	○情報は十分に発信できたと思うが、保護者の意識の違いから十分な周知とは至っていない。 ○HPについては、どのくらいの割合で活用・利用されているか把握し、多いようであれば学年行事や授業の様子を掲載する。	HP作成研修を実施。 ○各学級担任も、学年行事等を積極的に掲載する。（ノルマを課する） ○HPの更新、たよりの発行をまめにする。	○HPを楽しみにしている。大変とは思いますが、新しい情報をお願いします。
2 学校・家庭・地域が連携した交流事業による教育の活性化を図る。 ・高齢者との交流活動 ・農業体験 ・PTA行事 ・読み聞かせボランティアや地域人材の活用	B	○農業体験をとおし、全自動が田植えや稲刈りを体験できた。 ○いろいろな交流事業をすることができた。 ○地域の方々が協力的で、ボランティアの受け入れもスムーズにできた。	○係にお世話になってしまっていたので、少しずつHPづくりに努力したい。 ○田の草取りなど、もう少し関わるようにする。 ○地域の人材バンクがあるとよい。（2人）	○各地域の伝統行事やお祭りなどがあれば、児童が参加（学年または希望者）して、地域との交流をさらに高めていけたらよいと思う。 ○グランドゴルフなどへの参加をとおしてお年寄りとの交流を深める。 ○学校・学級単位で他施設への訪問や交流がもてるとよい。
III 確かな学力の育成		○学校課題には職員が前向きに取組み、授業研究をとおして成果を上げてきた。	○時間割の組み方などを工夫して、TTによる授業も展開できるようにしたい。（2人）	○親の指導力の問題が多いが、ノーテレビ、ノーゲームの日については保護者の意識改善が不足していると思う。チェックするなどの対策が必要である。
① 基礎学力の向上を図る。 ・ねらいを明確にした授業、分かる授業の実施 ・学校課題（数学的な思考力・表現力を伸ばす）を軸にした学習指導の充実 ・個に応じた指導の充実	B	○個に応じた指導のあり方を工夫する必要がある。（2人） ○各学年・実態に合わせた指導が進められている。 ○朝の学習や放課後、学級の時間も活用してきた。担任以外の先生の協力も得て個別指導が進められ、学力が向上した。	○家庭学習のあり方（ノーテレビ、ノーゲーム等）についての保護者への啓発が必要。 ○保護者への啓発として講演会等を開催してはどうか。	○補充学習を学校の空き時間や休み時間等を利用して行ったのはよかった。
2 家庭学習の習慣化を図る。 ・「家庭学習の手引き」の活用 ・毎日の家庭学習の奨励 ・家庭学習強調週間の実施	B	○学力テストで判断すると、「概ね達成している」児童の割合が低い。 ○家庭学習強調週間では成果が上がった。（2人）普段から自分で工夫して学習できるとよい。 ○計画的に家庭学習を進められる児童は多くなったが宿題だけで精一杯の児童もいる。	○学期ごとに学級・個人の学習状況を分析して指導しなければいけない。 ○思考力・表現力に課題があるので、普段の授業で意識して取り上げていく。	○読書をとおして、心の豊かさ、生活面の知識、漢字などを自ら学んでいけたらいいと思う。 ○ただ勉強しろといっても身に入らないので、自分からやろうとする気持ちを引き出す方法や関わり方を教えてほしい。
IV 豊かな心の醸成		○職員室での話題に子どもたちをよくしようという先生方の前向きな姿勢を感じる。	○あいさつや言葉遣いに関しては、継続して指導していきたい。（3人）	○あいさつはできる子どもとできない子どもの差があるように感じる。あいさつ運動は学校に活気が出てさらによくなると思う。
1 一人一人が認めあえる学級経営に努める。 ・道徳の授業の充実 ・児童理解と教育相談の充実 ・一人一人に活動の場を与える教育活動の工夫	A	○ハートの日の教育相談は、子どもたち一人一人との関わりのために効果があった。 ○ハートの日アンケートや定期的な教育相談で一人一人を把握することができた。 ○もう少し教育相談をする時間を確保し、ゆっくりと話ができたらよかった。	○6年で実施している「いつでもどこでもあいさつする」を校内で徹底してはどうか。 ○児童の委員会などを中心にあいさつ運動などをやってみてはどうか。	○生活する上においてあいさつが一番大事なことだと思う。人に会ったらこんにちは、良いことをしてもらったらありがとうなど、家庭を通じてさらに力を入れなければならないと思う。
2 あいさつ運動を推進する。 ・週目標の指導の徹底 ・言葉遣いに関する基本的な生活習慣の定着	B	○あいさつや言葉遣いについては課題がある。（4人） ○週の目標は毎週きちんと話して、児童も理解していた。	○あいさつ・言葉遣いなどの習慣については保護者への協力をさらに求めていきたい。 ○B日課を上手に使い教育相談の時間を確保する。	○目上の人に対する言葉遣いができない子が多いと思う。 ○あいさつは子どもにさせようとするのではなく、親が自ら。 ○あいさつや言葉遣いは家以外ではあまりできていない。
V 健やかな体の育成		○全職員で計画的・定期的に指導ができた。	○全校生での運動（体力づくり）に更に多く取り組ませたい。	○登下校の安全確保は、校長・教頭先生が率先して校門に立ったりスクールバスに乗ったりと安全意識の高さを感じた。
① 登下校の安全確保に努める。 ・街頭指導、スクールバス乗車指導の実施 ・不審者対応の避難訓練の実施	A	○統合したばかりなので、バスの決まり等についてきちんと指導され徹底された。 ○必要に応じて、事故事件の予防のため声かけを重ねてきた。 ○避難訓練などを実施することで安全に対する意識が高まった。	○放送委員会も連携していけばよかった。 ○バスの乗車指導を継続して行う。（2人） ○授業や全校運動で体力づくりをしていく。	○児童の安全確保、スクールバス乗車などとてもよく指導できていたと思う。
2 十分な運動量の確保に努める。 ・教科体育の授業の充実 ・業間の全校運動の充実	B	○一斉指導をする機会も多かったため、安全確保の意識が高まったと思う。 ○基礎体力を高められるような運動があまりできなかった。 ○子どもたちが進んで体を鍛える業間の全校運動の内容をもっと考える必要があった。（2人） ○教科体育では、運動量は確保されたが、その他の活動の中で更に体力を高める手立てが必要。（スクールバス通学で運動不足）	○授業や全校運動で体力づくりをしていく。 ○「めあてカード」を工夫して、目標をはっきり持たせる。 ○楽しく体を動かせるプログラムを開発してはどうか。	○今の子どもたちは家に帰って来ても外ではあまり遊ばない。休みの日に友達に来て家でゲームをしていることが多い。保護者が率先して外遊びを奨励することが大切。学校でも授業や遊びの中で体力づくりを多く取り入れてほしい。 ○とにかく歩くことが少ない。